



新市長誕生！の今こそ見直しを

うのつぶこ(諸派)

文化スポーツ振興部長 老朽化や狭隘化が著しく、現在の場所では多くの来場者を見込むことが難しいため建物を解体し、土地は返還予定です。

文化スポーツ振興部長 地域の方々を含めた市民の声を聞くところから始めたいと考えています。その上で市民参加型ワークショップなどを設け、施設配置等、全体デザインを再構築していきます。

町田市立博物館の新たな「有効活用」の可能性は。



奨学金返済支援 本の予約待ち

はせがわ圭亮(無所属)

生涯学習部長 予約件数と所蔵数を勘案しますと、最も多く予約をいただいている本は、おおむね3年半ほどお待ちいただくこととなります。

政策経営部長 どのような形での支援ができるかなどを考えるに当たり、現在、他自治体の事例などについて情報を収集しているところです。

生涯学習部長 町田市と同様に算出しますと、相模原市はおおむね1年半、八王子市はおおむね2年、多摩市はおおむね3年半という状況です。



英語教育/空調 設備/青切符!

小野寺まなぶ(公明党)

英語教育/空調 設備/青切符!

英語力を培うため、ネイティブ人材による「オンライン英会話」の充実を望むが、AI英語の今後の実施予定は、指導室長 26年度は市立全中学校にAI英語を導入し実証研究を進めていきます。AIとALTの強みを生かし、児童生徒のコミュニケーション能力向上を図っていきます。

防災安全部長 警察庁作成の自転車ルールブックでは16歳未満の違反は、原則として指導警告を行うとしています。



市民の移動、医療・介護支援を

大野まこと(日本共産党)

保健所長 直接関与は難しいが深刻。バスを公共交通として位置づけて、財政的支援を行うことが必要では。

都市づくり部長 近隣自治体と対応することで運転士不足の解消につながるが確認できれば、一つの改善策になると考えています。自治体の動向も注視していきたい。

診療所閉鎖に対し、住民から復活を求める声が出て



次世代に誇れる町田を創る

友井和彦(諸派)

市長の掲げる「誇れる町田」のビジョンや前任からの継承と継承しない事項は。

市長 市民の皆様が誇りを持ち、自信を持って紹介できる魅力ある町へと発展させたいと考えております。新公会計制度や行政サービスのDXなど、継承していくことを考えております。見直すべき点がある取組は、芹ヶ谷公園芸術の杜推進事業であるように、



市民サービス向上の思いを問う

若林章喜(選ばれる町田を創る会)

経営品質向上活動を通して人材育成や市民サービス向上への思いを新市長に問う。

市長 行政経営において大切なことは、市民目線で市民の声を聞き、問題点を明らかにすること、そして、全ての問題を解決することは難しいかもしれませんが、解決に近づけるよう努力する市役所であるべきだと考えております。



容器包装分別プラス チック

松岡みゆき(無所属)

容器包装プラスチックの不適物の除去について。

循環型施設担当部長 収集袋には品質を下げたままの不純物、あるいは発火や危険物が入っています。機械で選別できないため人の目と手による確認と除去が不可欠です。

4月から民法改正でひとり親の法定養育費の内容は。

子ども生活部長 子どもの監護を行う父母が相手に対し、



物価対策400円/市民病院

小野りゅうじ(まちだみらい)

デジタルギフトのライオンナップの決定方法は。

政策経営部長 食料品の物価高騰対策という趣旨があったことから、食料品の購入や飲食に活用できるデジタルギフトをご用意しました。

利用者が多い、Pay Payと楽天ペイは対象か。

政策経営部長 選定する際に、1ポイントが1円として使えるものを選定しており、



中心市街地におけるまちづくり

佐藤伸一郎(官民連携推進委員会)

町田駅周辺開発への取り組みについて問う。

市長 町田駅周辺開発に積極的に取り組むことで地域経済に活力を与え、町田をさらに魅力的な町、そして市民の皆様が自信を持って誇れる町へと発展させていく決意でございます。



医療体制/国際制園芸博

おんじょう由久(公明党)

救急医療とともに身近な安心できる医療体制の充実も重要だが、市の考えは。

市長 在宅療養の普及と療養を支える環境整備の基本となる医療、看護、介護職等、多職種の連携促進を図るため、様々な取組を推進していく必要があると考えております。

認知症の早期発見、受診と予防のため、まずは早期気づきのツールが必要では。



鶴川/下水道/ゴミ収集

森本せいや(まちだみらい)

鶴川駅は市の「東の玄関口」として発展が望まれる。

市長 街をどう成長させるか、変りなども検討し、最適な収集体制を築いていく考えです。

下水道事業WPPP導入は一旦立ち止まり、検討経緯を透明化し、市内事業者参画に、市は責任を持つべきだ。

下水道部長 事業スキーム選定過程の透明性、市内事業者の参加機会確保など念頭に置いて検討を進めていきたい。



用語の解説 本文中の青文字の解説です

- DPC** [2面] 入院患者の病気・症状ごとに、治療に要する費用の一部を「1日あたりの定額」として設定し、それを基にして入院医療費を計算する制度のこと。
- 国際園芸博覧会** [2・4面] 国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決への貢献を目的に開催される国際的な博覧会のこと。
- BRT** [4面] 走行空間、車両、運行管理等に様々な工夫を施すことにより、速達性、定時性、輸送力について、従来のバスよりも高度な性能を発揮し、他の交通機関との接続性を高めるなど利用者へ高い利便性を提供する次世代のバスシステムのこと。
- WPPP** [4面] ウォーターPPP (Public Private Partnership) は、水道・下水道などの水インフラの維持管理や更新において、行政と民間企業が協力して取り組む官民連携の手法のこと。

Copyright © 2024. All Rights Reserved. 町田市議会だより No.240